

私の夢・山重の夢作文コンテスト



志布志市長賞

「おおきくなったら」

一年 えんぶく いろは

ぼくは、おおきくなったらけいさつかんになります。てれびのとっぱこうばんみて、かっこいいなとおもったからです。

ぼくが、けいさつかんになったら、やましげのちゅうざいしょにすんで、ちいきのひととなかよくなります。そして、みんなにわるいことをするひとをつかまえて、みんなによろこんでもらいたいです。ぜったいにとりにがしません。

ちになるように花だんを作っています。正門前は、いろんな人が通るので、これからもきれいな花だんにしたいです。

山重小学校の伝とうのバトンがこれから先、ずっとつながっていくことを心から願います。

そして今もつながっている山重小の伝とうを私たちの努力ときづなでつないでいきたいです。



山重小学校長賞

「私のゆめ」

四年 山下 芽依 (めい)

私のしようらいのゆめは、パティシエになることです。パティシエになりたい理由は二つあります。

一つ目は、みんなに笑顔をとどけたいからです。アレルギーを持っている人は食べられる物が限られてしまいます。なので、私はアレルギーを持っている人でも食べられるケーキを作つて一人でも多くの人に笑顔をとどけたいです。

二つ目は、不公平のない世界にしたいと思います。まずしい家庭だからという理由で物が買えない人もいます。SDGsに取り組んで少しでも値段を下げて、誰でも買えるようにして、この世界から不公平を少しでもなくしたいです。私は、このゆめをかなえるために努力したいと思います。



山重校区コミュニティ協議会長賞

「わたしのゆめ」

三年 加藤 美桜 (みお)

わたしのゆめは、ほいくしです。

わたしには、二さいの妹がいて、よくめんどうをみています。絵本を読んであげたり、ごはんを食べさせてあげたり、外で一しょに遊んであげたりしています。ある時、わたしが「げんこつやまとたぬきさん」を歌つたら、妹がおどりました。それを見た担任の先生が、

「みおさんは、小さい子どものお世話がとても上手だね。」

とほめてくれたことがありました。妹がうれしそうにしているのを見ると、わたしも笑顔になります。小さい子どものお世話がとくいだし、楽しいのでほいくしになりたいです。

ほいくしになるために、わたしは大学でお勉強をがんばりたいです。ほいく園にいる子どもたちに、のびのびとしたかんきょうの中で大きくなつてもらえるように、わたしもがんばりたいです。

